

事務事業名	農業施設管理事業					事務事業No.	412 - 14					
1. 基本情報												
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名						
都市建設部	農業土木課	農業土木係	係長	永尾 拓道	課長	田中 勝之						
施策体系	総合計画	政 策	4	地域経済								
		施 策	1	農林業の振興								
		基本事業	2	農地や森林の多面的機能の維持								
	その他の計画	個別計画	-									
根拠法令・条例・要綱等	-											
事業開始年度	-	事業終了年度	継続		事務事業類型	施設維持管理事業						
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし		実施計画期間	-						
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）												
概要	農業用施設（ため池・井堰・用排水路・農道等）・揚水ポンプ・排水機場について、地元農事区からの要望等に基づき調査し維持修繕工事等を実施するとともに、揚水ポンプ等については保守点検委託を実施し施設の維持を図る。											
対象	働きかける相手・もの	農業用施設（ため池・井堰・用排水路・農道等）・揚水ポンプ・排水機場										
手段	方法・働きかけ（活動指標）	農業用施設については、地元農事区からの要望等に基づき調査し維持修繕工事等を実施するとともに、揚水ポンプ等については保守点検委託を実施し施設の維持を図る。										
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	老朽化した農業施設について、維持補修を行う部分の早期発見や点検等を実施し、施設の情報については地元農事区からの情報により施設の維持を図る。										
3. 活動指標（決算成果説明書と運動）												
指標名		単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込					
農業用施設箇所数		箇所	農業用施設		15	15	15					
苦情受付件数		件	苦情受付件数		227	240						
4. 成果指標（決算成果説明書と運動）												
指標	管理点検委託率	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込					
		%	100	目標値	100	100	100					
説明	点検委託件数／点検箇所件数	方向性	達成目標年度	実 績	100	100						
		維持	毎年度									
指標	苦情処理率	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込					
		%	100	目標値	100	100	100					
説明	苦情処理件数／苦情受付件数	方向性	達成目標年度	実 績	88.5	89.6						
		維持	毎年度									
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込					
				目標値								
説明		方向性	達成目標年度	実 績								
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）												
経費区分	一般会計	経常経費			特別会計	-						
予算科目・事業	会計 1	一般会計			款 6	農林水産業費	項 1	農業費	目 5	農業施設費		
	大 2	農業施設管理運営事業費			中 1	農業施設管理費			他 3	事業		
投入人員 (当該事務事業に 対して1年間に投 入した人員)	(R2以降)		前年度実績(千円)		本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)		次年度予算(千円)			
	正職員		3.72	人	29,560	3.08	人	25,084		3.30	人	26,876
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル		0.00	人	0	0.25	人	1,157		0.25	人	1,157
	再任用短		1.20	人	4,193	0.61	人	2,184		0.61	人	2,184
	会計年度	1級フル	0.25	人	733	0.25	人	920		0.00	人	0
		1級パート	0.80	人	1,680	1.01	人	2,657		1.26	人	3,314
		2級パート	0.15	人	412	0.35	人	1,200		0.00	人	0
人件費計(A)		36,578		33,202		-		33,531				
事業費	直接事業費(B)		141,071		138,827				85,869			
	総事業費(A+B)		177,649		172,029				119,400			
直接事業費のうち の主な歳出内訳	工事請負費		22,589		39,303				38,000			
	委託料		18,697		18,659				23,276			
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0		0				0			
	国・県支出金		0		0				0			
	市債		2,000		4,000				0			
	一般財源		175,614		164,112				119,396			
	その他(ふるさと水と土保全基金)		35		3,917				4			

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	公共施設である農業用施設の維持修繕工事や保守点検委託等を実施し、施設の維持を図るため行政が行うべきものである。
効率性 評価	高い	国・県の補助事業に該当するものに関しては、活用し行っている。
有効性 評価	高い	農業施設の老朽化が進み、維持管理箇所の増加してきているが、修繕工事や保守点検を実施することで、維持管理の負担が軽減されている。

7. 前年度評価時の計画と実績		
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策
一次評価	拡充	地元農事区との連絡調整によって、優先すべき維持管理箇所の特定や地元及び職員等による応急処置により農業用施設の維持管理を継続して行う。
	コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策
	現状維持	職員（人員）等の確保が必要である。施設の老朽化が進んでいるため、補助金等の活用を検討し長期的な計画をたて維持管理をやっていく必要がある。
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入		
地元農事区との連携や情報共有を図り、農業用施設の維持管理に必要な実態調査及び点検を実施したことで、農業経営の安定に繋がり施設管理維持の向上に努めることが出来た。		

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
〔成果〕	地元農事区との連携や情報共有を図り、農業用施設の維持管理に必要な実態調査及び点検を実施したことで、農業経営の安定に繋がり施設管理維持の向上に努めることが出来た。
〔課題〕	地元農事区との連携を密にし、情報の共有により農業用施設の状況把握に努め、維持修繕工事に必要な時間や費用を最小限に抑えながら速やかに対応出来るようにする。

9.今後の事業の方向性と改善策		
成果の方向性	【理由】	地元農区長との連携を密にし、情報の共有を図り優先順位を決め、維持管理を行っているが、年々、施設等の老朽化が進み、維持管理箇所が増えているものの職員（人員）が増えなければ、これ以上の成果は見込めないため。
現状維持		
コスト投入の方向性	【理由】	コストについては補助金等の活用を検討し、現状維持で行っていく。
現状維持		
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★		
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	地元農事区との連絡調整によって、優先すべき維持管理箇所の特定や地元及び職員等による応急処置により農業用施設の維持管理を継続して行う。	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	職員（人員）等の確保が必要である。施設の老朽化が進んでいるため、補助金等の活用を検討し長期的な計画をたて維持管理をやっていく必要がある。	

評価変更理由	成果の方向性	農業施設の適切な維持管理について、成果は拡充すべきである。 成果の拡充を図るため、コストは現状維持とするが、張コンの実施については全面的に推奨するものではない。
	拡充	
	コスト投入の方向性	
	現状維持	